

宇都宮市立宝木小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・主体的・対話的な授業を目指した授業改善	・授業研究会を積み重ね、主体的・対話的な授業を目指した授業改善を進める。また、ICTを活用することで、多様な方法での学び合いを実践していく。	・「自分の考えを根拠を挙げながら話すことができるか」の肯定割合は、市の平均を上回っているが、「グループなどの話合いに自分から進んで参加しているか」の肯定割合は、市の平均とほぼ同じである。技能は上がってきているが、進んで取り組んでいるとはいえない。
・家庭学習の習慣化・継続化への手立てや取り組み方の提示	・家庭学習の習慣化が図れるよう、家庭と連携した学習ががんばり週間を年2回実施する。また個に応じた学習ができるよう、家庭学習でもAIドリルやタブレットを活用した学習を推進していく。	・家庭学習の時間が短い傾向があり、習慣化されているとはいえない。インターネットを活用して学習情報を得たり、キーボードを使って文章を入力したりする項目での肯定割合は、市の平均を上回っており、タブレットを活用した学習は定着してきていると考えられる。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

・対話を取り入れた学びについては、授業改善なども進み、成果が上がってきている。また、児童の様子から対話的に学んだ方が理解しやすい傾向がみられることから、今後も継続してペアやグループ学習、タブレットを活用した意見交流などを取り入れていきたい。

・主体的な学びについては課題が見られる。AIドリルやタブレットを活用した学習には、進んで取り組んでいることから、ICTを活用することで主体性を育て、できる喜びを味わい、学ぶ楽しさにつなげていきたい。

・家庭学習の習慣化は継続的に取り組むことと家庭の協力が必要である。今後も家庭への協力を呼びかけながら継続的に指導を続けていきたい。